



C Piscine

C 00

Summary: このドキュメントは、*C Piscine @ 42*の *C 00*モジュール用の課題である。

Contents

I	Instructions	2
II	Foreword	4
III	Exercise 00: ft_putchar	5
IV	Exercise 01: ft_print_alphabet	6
V	Exercise 02: ft_print_reverse_alphabet	7
VI	Exercise 03: ft_print_numbers	8
VII	Exercise 04: ft_is_negative	9
VIII	Exercise 05: ft_print_comb	11
IX	Exercise 06: ft_print_comb2	12
X	Exercise 07: ft_putnbr	13
XI	Exercise 08: ft_print_combn	14
XII	Submission and peer-evaluation	15

Chapter I

Instructions

- 課題に関する噂に惑わされないよう気をつけ、信用しないこと。
- この書類は、提出前に変更になる可能性があるため、気をつけること。
- ファイルとディレクトリへの権限があることを、あらかじめ確認すること。
- すべての課題は、提出手順に従い行うこと。
- 課題の確認と評価は、あなたの周りにはいるPiscine受験者により行われる。
- 課題の確認と評価は、Piscine受験者に加えて、Moulinetteと呼ばれるプログラムによっても行われる。
- Moulinetteは、大変細かい評価を行う。これはすべて自動で行われるため、交渉の余地はない。
- Moulinetteは、コーディング規範（Norm）を遵守しないコードを解釈することができない。そのため、Moulinetteはnorminetteと呼ばれるプログラムを使用し、あなたのファイルがコーディング規範を遵守しているか確認を行う。せっかくの取り組みが、norminetteの確認により無駄にならないよう、気をつけること。
- 問題は、簡単なものから徐々に難しくなるように並べられている。簡単な問題が解けていない場合は、難しい問題が解けていたとしても 加点されることはない。
- 使用が禁止されている関数を使用した場合は、不正とみなされる。不正者は-42の評価をつけられ、この評価に対する交渉の余地はない。
- 課題がプログラムの提出を要求する場合のみ、main()関数を提出すること。
- Moulinetteは以下のフラッグを用いて、ccでコンパイルする。 -Wall -Wextra -Werror
- プログラムがコンパイルされなかった場合、評価は0になる。
- 課題で指定されていないものは、どんなファイルもディレクトリ内に置かないこと。

- 質問がある場合は、隣の人に聞くこと。それでも分からない場合は、反対側の席の人に聞くこと。
- 助けてくれるのは、Google / 人間 / インターネット / ...と呼ばれているものたちである。
- 出力例には、問題文に明記されていない細部まで表示されている場合があるため、入念に確認すること。



標準42ヘッダーをあなたの全ての.c/,hファイルに追加することを忘れないでください。 norminetteはとにかくその存在を確認します！



norminetteは、`-R CheckForbiddenSourceHeader` をオプションに追加しなければならない。Moulinetteも、このオプションを使用する。

Chapter II

Foreword

タラ肝油は、タラの肝臓に由来する栄養補助食品です。

ほとんどの魚油と同様に、オメガ-3脂肪酸、
エイコサペンタエン酸（EPA）、ドコサヘキサエン酸（DHA）が豊富に含まれていま
す。

タラ肝油には、ビタミンAとビタミンDも含まれています。


歴史的には、ビタミンAとビタミンDの補給のために摂取されてきました。

ビタミンDは、くる病やその他のビタミンD欠乏症の症状を予防することが示されて
いるため、
かつては子供に一般的に投与されていました。

タラ肝油とは違い、Cはとても良い味です。積極的に摂取しましょう！

Chapter III

Exercise 00: ft_putchar

	Exercise 00
	ft_putchar
	提出するディレクトリ : <i>ex00/</i>
	提出するファイル : <i>ft_putchar.c</i>
	使用可能な関数 : <i>write</i>

- パラメータとして渡された文字を標準出力に出力する関数を作成せよ。
- プロトタイプ例)

```
void ft_putchar(char c);
```

文字を標準出力に出力するためには、以下のようにwrite関数を使うこと。


```
write(1, &c, 1);
```



初めて提出する場合、課題を再提出できるようになるまでの時間は短いので、進捗を確認するため、躊躇わずにレビューを一度受けてみましょう。

Chapter IV

Exercise 01: ft_print_alphabet

	Exercise 01
	ft_print_alphabet
	提出するディレクトリ : <i>ex01/</i>
	提出するファイル : <i>ft_print_alphabet.c</i>
	使用可能な関数 : <i>write</i>

- 小文字のアルファベットすべてを、“a” から昇順に1行で標準出力に出力する関数を作成せよ。
- プロトタイプ例)

```
void ft_print_alphabet(void);
```




他の受験生へ話しかけることを躊躇わずに、誰かに質問してみましょう。

Chapter V

Exercise 02:

ft_print_reverse_alphabet

	Exercise 02
	ft_print_reverse_alphabet
	提出するディレクトリ : <i>ex02/</i>
	提出するファイル : <i>ft_print_reverse_alphabet.c</i>
	使用可能な関数 : <i>write</i>

- 小文字のアルファベットすべてを、“z” から降順に1行で標準出力に出力する関数を作成せよ。
- プロトタイプ例)


```
void ft_print_reverse_alphabet(void);
```



Gitを定期的にプッシュすること。

Chapter VI

Exercise 03: ft_print_numbers

	Exercise 03
	ft_print_numbers
	提出するディレクトリ : <i>ex03/</i>
	提出するファイル : <i>ft_print_numbers.c</i>
	使用可能な関数 : <i>write</i>

- すべての数字を、昇順に1行で標準出力に出力する関数を作成せよ。
- プロトタイプ例)


```
void ft_print_numbers(void);
```



協力し合うことが、成功の鍵です。

Chapter VII

Exercise 04: ft_is_negative

	Exercise 04
	ft_is_negative
提出するディレクトリ : <i>ex04/</i>	
提出するファイル : <i>ft_is_negative.c</i>	
使用可能な関数 : <i>write</i>	

- パラメータとして入力された整数に応じて、“N” または、“P” を標準出力に出力する関数を作成せよ。 *n* がマイナスの場合は “N”、*n* がプラスまたは、*null* の場合は、“P” を標準出力に出力すること。
- プロトタイプ例)

```
void ft_is_negative(int n);
```



失敗は学びの旅の一部です。

マイルストーン達成、引き続きがんばりましょう！

あなたは、この課題の最後の必須問題に到達しました。


次の課題に進むか、引き続きこの課題の追加問題に取り組むかは、あなた次第です。どちらの道を選んでも、いずれ役に立つ要素を学ぶことができます。

以下の要素を考慮して、選択してください。：

- 最初のExamはC言語に関する内容のため、あなたはすでに最初のC言語の課題を経験しているかもしれません。週末に行われるRushについても同様です。（Rushについてはすぐに学ぶことになります）
- Piscineの成績は、様々な要素によって評価されます。各課題のクリアはその一つの要素ですが、全課題の全体的な進捗もまた要素の一つです。最善の結果につながるように、賢明な選択をしてください。
- Piscineが終了するまでの間は、数日から数週間後に、同じ課題へ再び取り組むことが可能です。
- 他のPiscine受験生とある程度同じ進捗を保つことで、より円滑に学び合うことができます。

Chapter VIII

Exercise 05: ft_print_comb

	Exercise 05
	ft_print_comb
	提出するディレクトリ : <i>ex05/</i>
	提出するファイル : <i>ft_print_comb.c</i>
	使用可能な関数 : <i>write</i>

- 3桁の数字の異なるすべての組み合わせを、昇順で標準出力に出力する関数を作成せよ。

- 例)

```
$> ./a.out | cat -e
012, 013, 014, 015, 016, 017, 018, 019, 023, ..., 789$>
```

- 789が既に存在するため、987は存在しない。
- 9が複数存在するため、999は存在しない。
- プロトタイプ例)


```
void ft_print_comb(void);
```



隣のPiscine受験生に相談しましたか？

Chapter IX

Exercise 06: ft_print_comb2

	Exercise 06
	ft_print_comb2
	提出するディレクトリ : <i>ex06/</i>
	提出するファイル : <i>ft_print_comb2.c</i>
	使用可能な関数 : <i>write</i>

- 00から99まで2つの2桁の数字の異なるすべての組み合わせ(XX XX)を、昇順で標準出力に出力する関数を作成せよ。

- 例)

```
$> ./a.out | cat -e
00 01, 00 02, 00 03, 00 04, 00 05, ..., 00 99, 01 02, ..., 97 99, 98 99$>
```

- プロトタイプ例)


```
void ft_print_comb2(void);
```



他のPiscine受験生に問題を解いてもらうのではなく、学び合いを通してインスピレーションを得ること。

Chapter X

Exercise 07: ft_putnbr

	Exercise 07
	ft_putnbr
	提出するディレクトリ : <i>ex07/</i>
	提出するファイル : <i>ft_putnbr.c</i>
	使用可能な関数 : <i>write</i>

- パラメータとして渡された数を標準出力に出力する関数を作成せよ。その際、`int`型に収まるすべてのパターンを標準出力に出力できるようにすること。
- プロトタイプ例)

```
void ft_putnbr(int nb);
```


- 例)
 - `ft_putnbr(42)` は、“42”を標準出力に出力する。



いかなる情報源も鵜呑みにはしないこと。常に自分自身でテスト・管理・検証を行うこと。

Chapter XI

Exercise 08: ft_print_combn

	Exercise 08
	ft_print_combn
	提出するディレクトリ : <i>ex08/</i>
	提出するファイル : <i>ft_print_combn.c</i>
	使用可能な関数 : <i>write</i>

- n の数の異なるすべての組み合わせを、昇順で標準出力に出力する関数を作成せよ。
- n は、次のようになる。 : $0 < n < 10$
- $n = 2$ の場合の例)

```
$> ./a.out | cat -e
01, 02, 03, ..., 09, 12, ..., 79, 89$>
```

- プロトタイプ例)

```
void ft_print_combn(int n);
```



隣のPiscine受験生に相談しましたか？

Chapter XII

Submission and peer-evaluation

課題は、いつも通り Git リポジトリに提出すること。リポジトリ内の提出物のみが、レビュー中の評価対象となる。ファイルの名前が正しいことを確認すること。



この課題の要件で求められているファイルのみを提出すること。